

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 4 年 2 月 16 日(2022.2.16)

【公開番号】特開 2020-185190(P2020-185190A)  
【公開日】令和 2 年 11 月 19 日(2020.11.19)  
【年通号数】公開・登録公報 2020-047  
【出願番号】特願 2019-91580(P2019-91580)  
【国際特許分類】  
A 6 1 M 5/42(2006.01)  
【F I】  
A 6 1 M 5/42 5 1 0

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 4 年 2 月 7 日(2022.2.7)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

皮膚の第 1 領域に対して固定される第 1 固定部と、  
前記皮膚の第 2 領域に対して固定される第 2 固定部とを備え、  
前記第 1 固定部と前記第 2 固定部との間の前記皮膚を引っ張るように、前記第 1 固定部は  
前記第 2 固定部に対して相対的に移動可能であり、  
前記第 1 固定部は、前記皮膚を吸着し、  
前記第 1 固定部は、前記第 1 固定部の内部に吸い込まれた前記皮膚を支持する支持体を有  
することを特徴とする穿刺補助具。

30

【請求項 2】

前記第 1 固定部と前記第 2 固定部とを接触させた状態において針の位置決めをするための  
溝が前記第 1 固定部に形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の穿刺補助具。

【請求項 3】

針が通過する貫通穴が形成されており、前記針の移動をガイドするガイド部を備えること  
を特徴とする請求項 1 または 2 に記載の穿刺補助具。

【請求項 4】

前記皮膚に張りつく張付部を備え、  
前記ガイド部は、前記張付部における張り付く領域の内側に配置されていることを特徴と  
する請求項 3 に記載の穿刺補助具。

40

【請求項 5】

前記第 1 固定部の内部の空間に接続された通気部であって、減圧により縮む蛇腹構造を有  
する通気部を備える請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の穿刺補助具。

【請求項 6】

前記第 1 固定部の内部の空気を吸引する吸引装置を備えることを特徴とする請求項 1 から  
5 のいずれか 1 項に記載の穿刺補助具。

【請求項 7】

請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の穿刺補助具を用いた穿刺方法であって、  
前記第 1 固定部と前記第 2 固定部との間の前記皮膚を引っ張った状態で、前記第 1 固定部  
と前記第 2 固定部との間の前記皮膚に針を刺すことを特徴とする穿刺方法。

50